



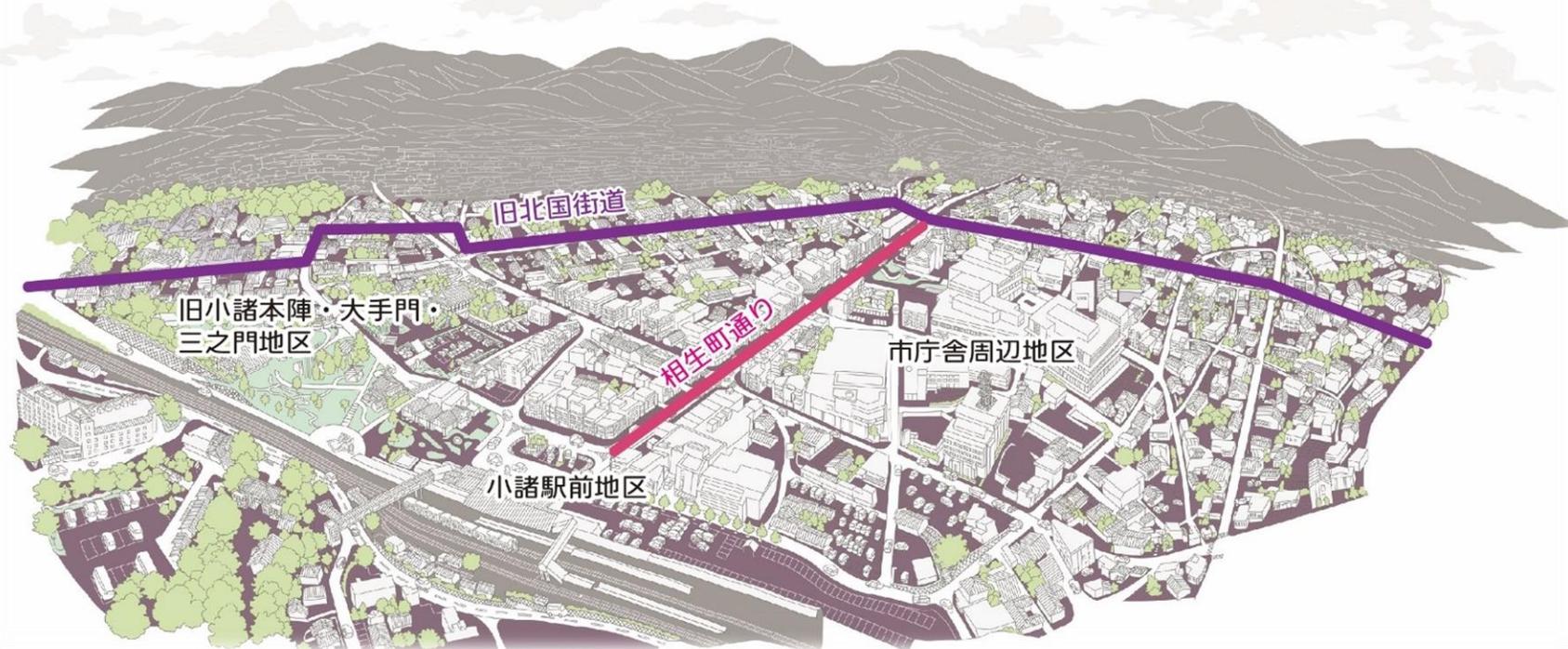
こもろ・まちたねプロジェクト 令和5年度 実績報告会

令和5年度の取組み内容	2
1 縁JOY！小諸 交通社会実験	3
2 プレイスメイキング社会実験（まちタネ広場）	7
3 旧小諸本陣復原・敷地一帯の文化観光拠点づくり	8
4 小諸駅前広場社会実験	9
5 小諸駅周辺地域未来チャレンジビジョン策定	10
関連事業説明	
①脱炭素先行地域の取組	12
②小諸市動物園第二期整備	15

令和6年3月11日（月）

令和5年度の取組み内容

小諸駅周辺地域において、主に5つの取組みを実施



1 縁JOY！小諸 交通社会実験

2 プレイスメイキング社会実験

3 旧小諸本陣復原
敷地一帯の文化観光拠点づくり

4 小諸駅前広場社会実験

5 小諸駅周辺地域
未来チャレンジビジョン策定



まちタネ・子どもの居場所づくり



駅前広場・安全な歩行空間



未来ビジョン・市民意見聴取

1-1 縁JOY!小諸 交通社会実験



概要

まち巡り新交通サービスと交通連携型の情報サービスを同時に提供し、気になるスポットを見つけてもらい、回遊・滞在を促進する社会実験

①EV3輪カート「スマートカートegg」



小諸駅周辺の大手門公園、旧北国街道、相生町通りを20kmの低速で周遊し、スポットからの呼び出しも可能

【利用料】 無料
 【利用者】 R4 (28日間) 3,345人
 R5 (19日間) 1,805人
 ただし、イベント出動は除く

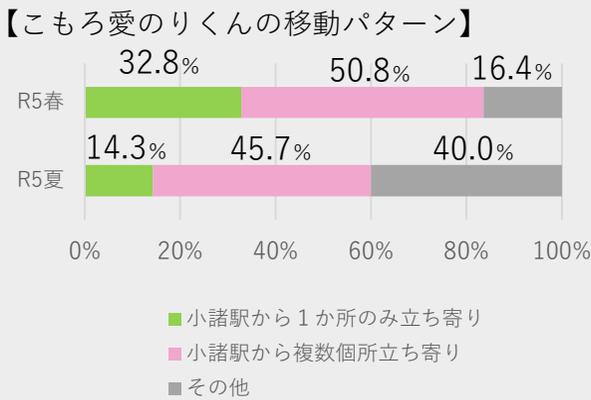


②こもろ愛のりくん、EVバス「eミライ号」



こもろ愛のりくんは予約制の相乗り運行でスポットを結び、「eミライ号」は小諸駅を起点にスポットを巡回

【利用料】 1日乗り放題600円～
 【こもろ愛のりくん 利用者】
 R4(17日間)355人, R5(12日間) 144人
 【EVバス利用者】
 R4(29日間)687人, R5(6日間)35人

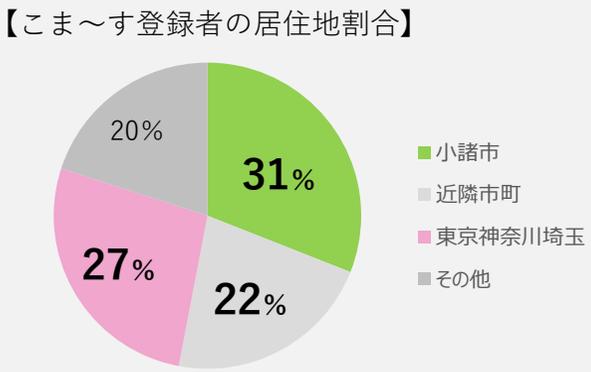


③LINE公式アカウント「信州こもろ・こま～す」



新交通の電子チケットの発券とスポットの地図検索、イベント情報を定期的にプッシュ通知

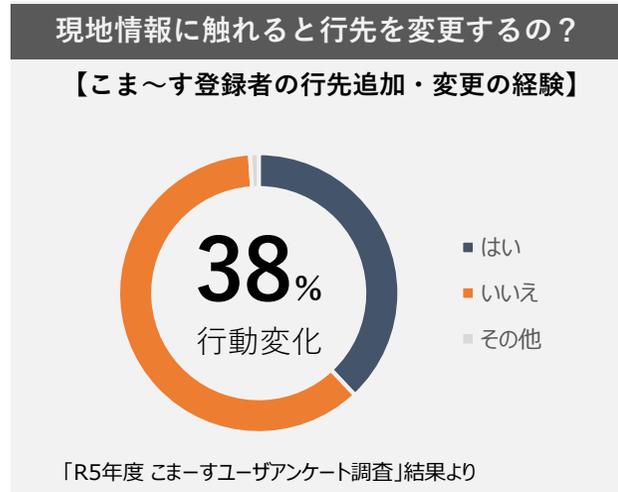
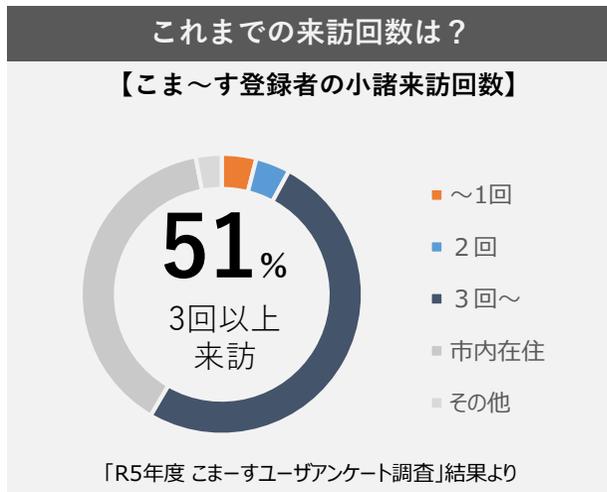
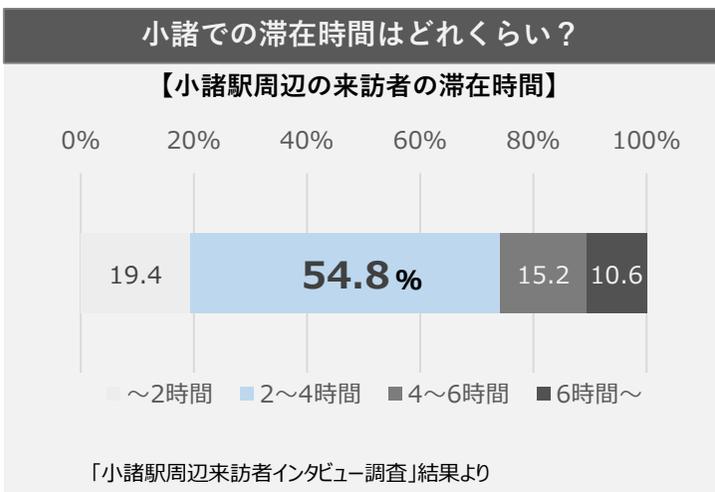
【登録者数】 3,885人
 【プッシュ通知件数】
 R5年4月～11月 127件 (週1回程度)
 開封率50%、クリック率26%



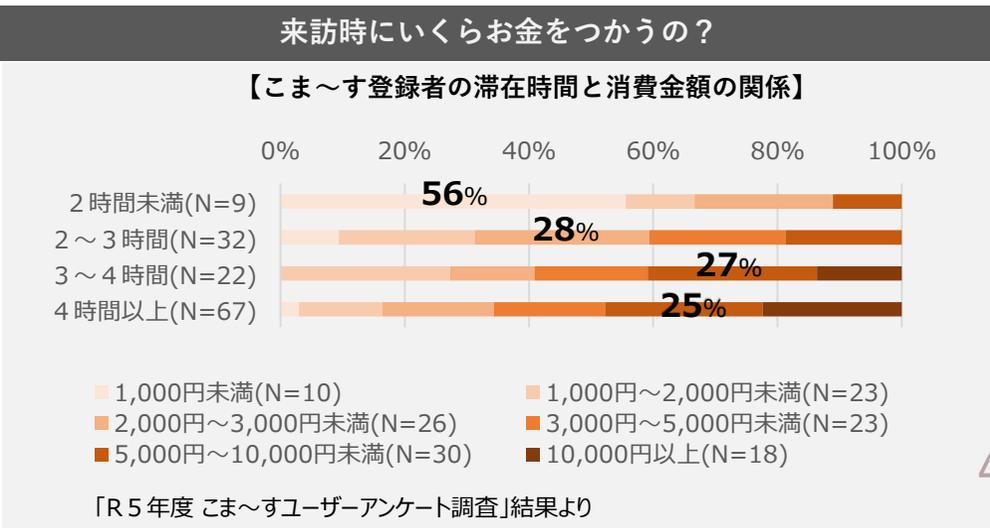
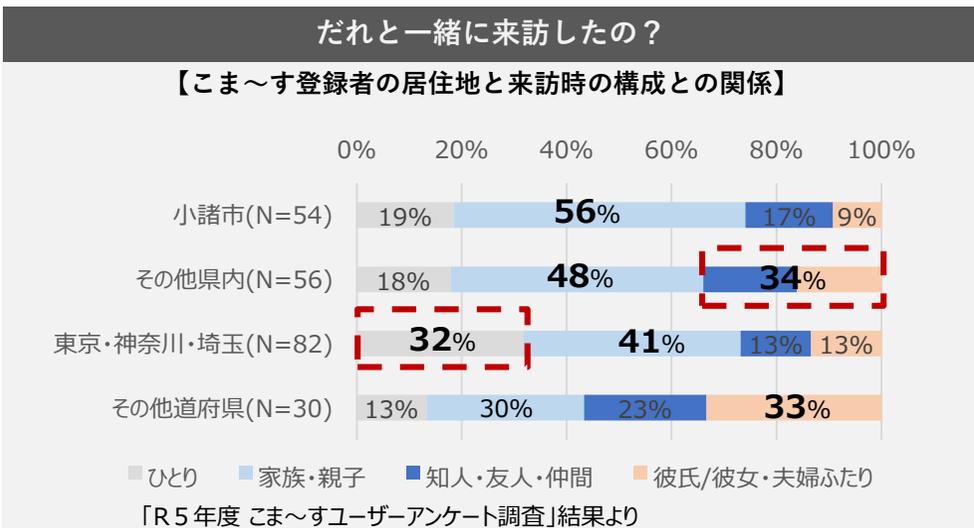
1-2 小諸駅周辺の来訪者の特徴



①小諸駅周辺の来訪者の多くは2～4時間程度滞在し、来訪頻度が多く、また、来訪した際に得た情報で、目的地を変更・追加する者も一定の割合でいることがわかりました。



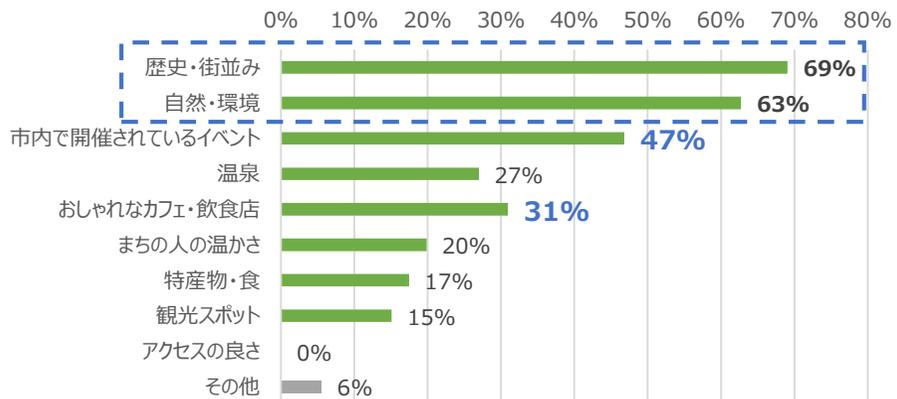
②近隣からの来訪者は友人・パートナーと一緒に、東京・神奈川・埼玉からの来訪者は一人で来る方が特徴的で、比較的、目的地の変更・追加しやすく、また、滞在時間が伸びるほど消費金額が増える傾向です。



1-3 来訪者が魅力として感じていること・来訪者の推移

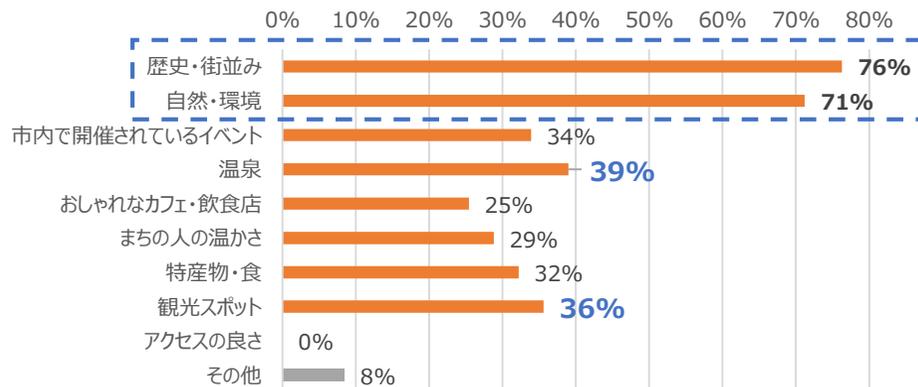
③市民、近隣、県外からの来訪者いずれも、小諸のまちの多様さに魅力を感じています。

市民・近隣からの来訪者が感じる小諸の魅力（複数回答）



「R5年度 こま～すユーザーアンケート調査」結果より

県外からの来訪者が感じる小諸の魅力（複数回答）



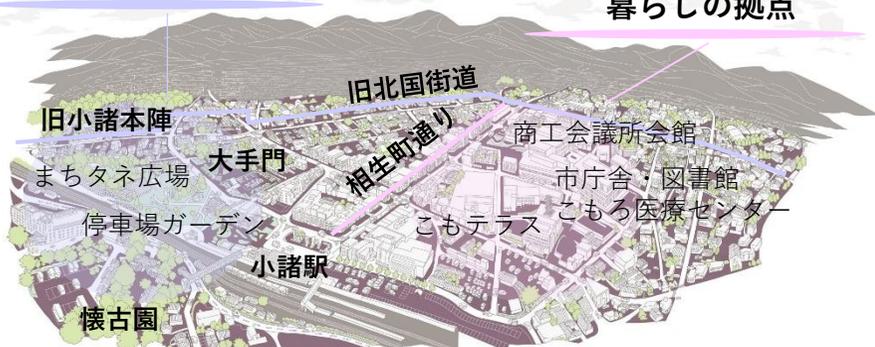
「R5年度 こま～すユーザーアンケート調査」結果より

④小諸駅周辺は“暮らし”と“文化・観光交流”の多様な資源が集積し、来訪者数はコロナ以前と比べ回復・増加傾向となっています。

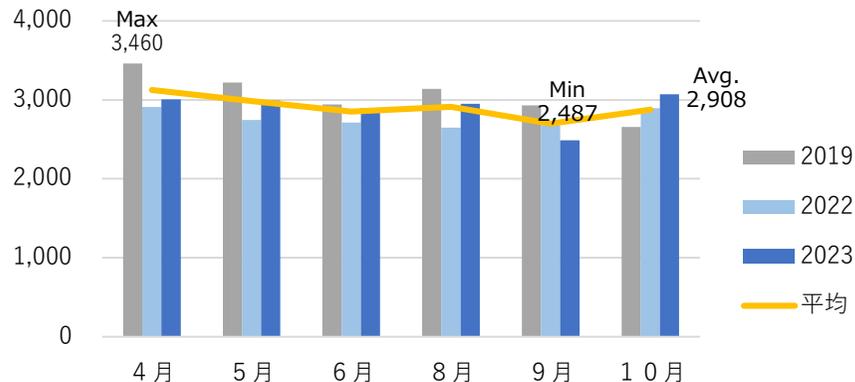
【小諸駅周辺の拠点形成のイメージ】

文化・観光交流の拠点

暮らしの拠点



【小諸駅周辺の来訪者の推移（土日祝日の1ヶ月平均）】

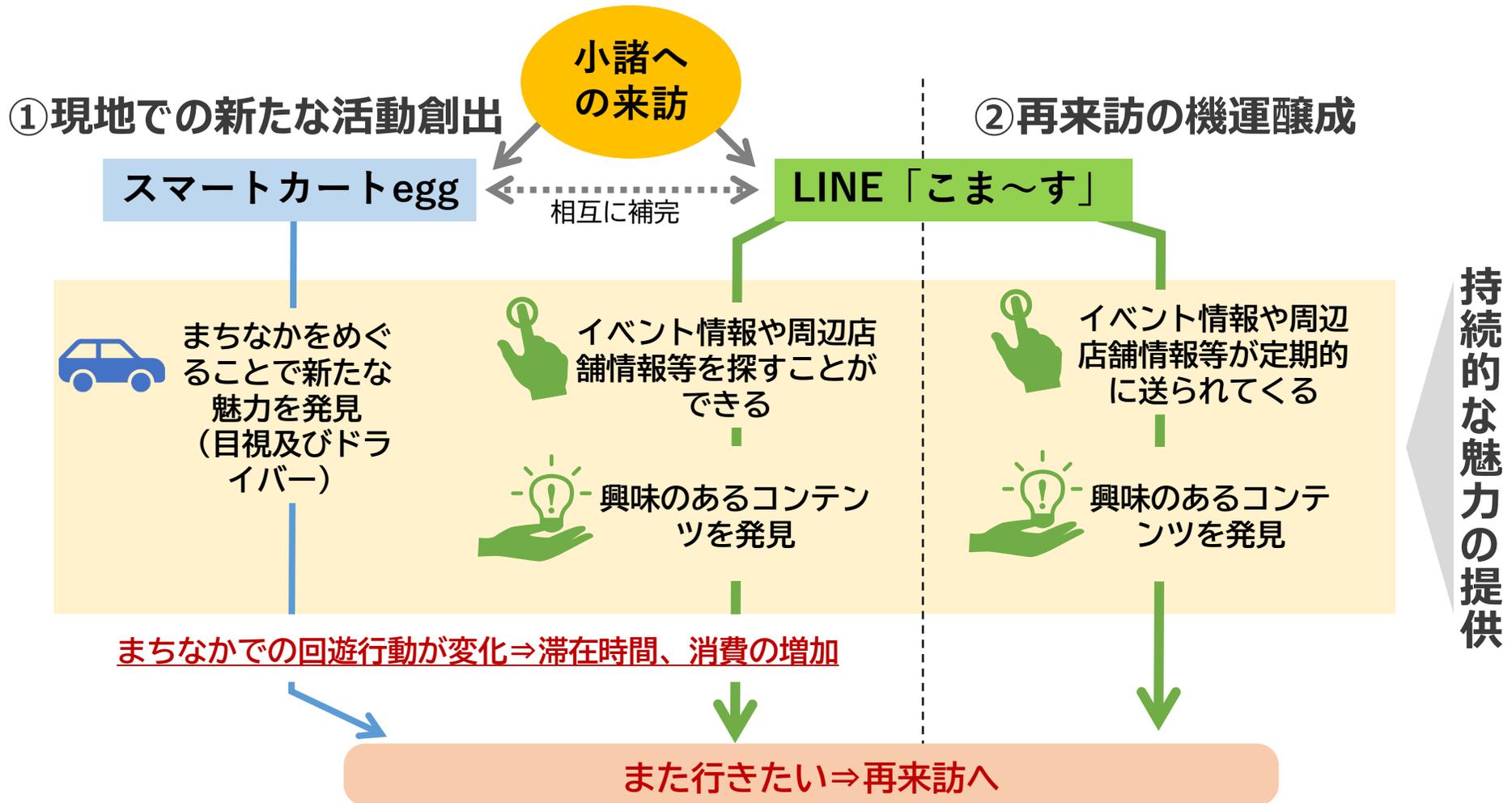


「KDDI Location Analyzer を用いてUR都市機構が作成」

1-4 新交通社会実験が示す今後の事業の方向性

「縁JOY！小諸」新交通社会実験では、一度、小諸に来訪し、駅前の声かけやスマートカートeggの利用などを契機として、LINE「こま～す」を登録することで、現地での新たな活動の創出や、小諸への再来訪の機運醸成に繋がっている可能性を確認しました。

今後の事業の方向性は、まちの情報発信とさらに連動した、小諸駅からの2次的交通を目指していくこととなります。



2 まちタネ広場社会実験

目的 市民等がまちなかに主体的に関われる場づくり、週末等の目的地づくり、子どもの居場所づくり

成果

- ◎市民等がまちなかに主体的に関わり、多様な活用が見られた
- ◎まちなかに子どもの楽しむ機会の増加
- ◎まちタネサポーターの試行（20の取組に対し45名の参加（1日あたり1～2名程度））

多様な使い方のバリエーション



アニメ好きな人、みんなで踊ろう！「アニクラ前夜祭」



地元の夏の緩やかな交流会「大区区夕涼み会」



オーガニックな暮らしを！「オーガニックアートフェス」

【R5実績】

- イベント数 59件
- ①多様な学習の場 18件
例) まちタネ遊び、キャンプ体験、芋植え・芋掘り・焼き芋体験
 - ②地産地消の場 22件
例) ふーどまつり、朝の環、アサヤマルシェ
 - ③音楽活動の場 10件
例) まちタネライブ、小諸ボンバイエ

子どもの楽しむ機会の増加



子どもたちで畑づくり！「まちタネ畑（サツマイモ）」



大学生と子どもたちの交流「幼児バレエ鑑賞会」



こども店長によるお店体験！「ゆるっと夏祭り」



高校生のお兄さんお姉さんと一緒に遊ぼう！「まちタネ遊び」

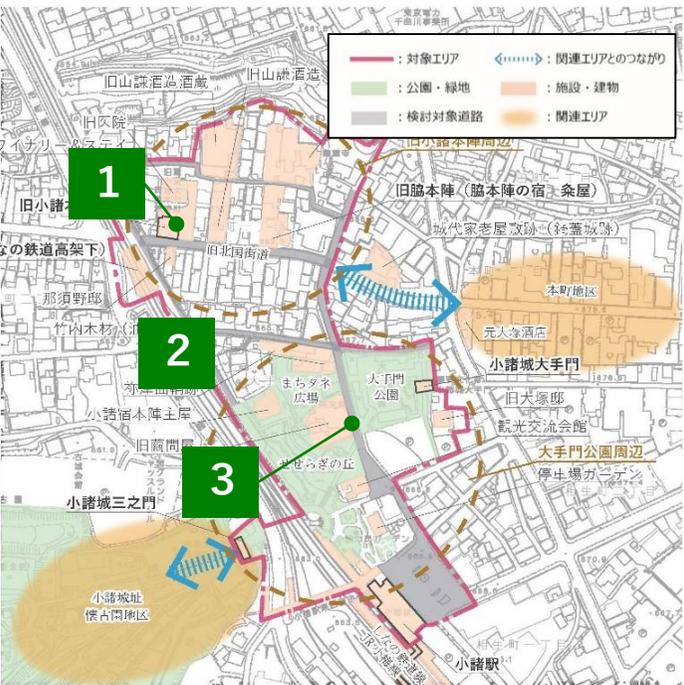
R6の展開

- ・まちタネ広場を市民等がまちなかに主体的に関わる場としながら、多様な主体の相互連携を促す場づくりを進めます。
- ・まちタネ広場で生まれた多様な主体の活動を、まちなかのその他公共施設や公共空間等へ展開します。

3 旧小諸本陣の復原・敷地一帯の文化観光拠点づくり



目的	旧小諸本陣の修理復原を契機に、地域資源を生かした公民連携による新たな賑わいの創出
成果	旧小諸本陣等の文化・観光交流拠点化に向けた基本計画書の策定（R5.11月）と市庁内に組織横断的なプロジェクトチームを結成（R6.2月）



1 小諸本陣敷地一帯での拠点施設化の推進

①旧小諸本陣の修理復原

国重要文化財として、江戸後期の本陣、旅籠として利用された頃の姿に復原します。
(R2～R9)

②旧小諸本陣の保存活用

文化財を活かした生涯学習施設として保存・活用を行うとともに、多様な文化活動を体験できる場としての活用を検討していきます。
(R5～R9)

③敷地一帯の活用

敷地内にある旧医院では、受付・管理事務など旧小諸本陣の補完的な役割と多様な文化活動のための創作・交流の場を目指します。
(R6～)

2 歩行空間と憩いの場の改善

小諸駅～大手門公園～旧小諸本陣をつなぐ市道等の歩行空間の改修や統一的な案内サインの再整備、座り場等の改修を検討します。
(R7～R9)

3 公共空間と歴史的建築物の一体的活用に向けたエリアプラットフォームづくり

大手門公園周辺をはじめ、公共空間と隣接する歴史的建造物等が一体的に活用されることで、公共空間の快適性の向上と歴史的建築物の一層の活用を推進するため、関係事業者や参画意欲のある事業者をはじめとした多様な主体が連携・調整できる場（エリアプラットフォーム）づくりを進めます。

4 小諸駅前広場社会実験



目的 安心して通行できる歩行空間の確保、駅前に滞留できる人の居場所づくり、車両の安全性向上等

成果 歩車分離による歩行空間・滞留空間ニーズや、交通機能の再配置による安全性向上を確認

実施内容 期間：R5.9.23(土)～R5.11.20(月)(準備・撤去期間を含む)

- ①ガードレール設置により歩車道分離
- ②4 m幅の歩行空間、滞留空間（座り場）の設置
- ③車両交錯を減らすため、乗降場・待機場を明確化

結果① 歩行空間設置による変化

- 歩行者アンケートで、約9割の人が安全を実感

駅前歩行者数1,241人
平日（10/3(火)、4(水)） ※人流カメラより

結果② 一般車両の行動変化

- 乗降場等の明示により、無秩序な駐停車が減少
- 車路の幅員が狭くなったことで車両スピードが減速
- 広場を利用する車両台数に大幅な変化なし（▲8%）
車両台数の変化
実験前（9/19(火)、20(水)） 979台
実験中（10/3(火)、4(水)） 908台

結果③ 滞留空間設置による変化

- 滞留空間(座り場)について、約9割の人が必要と回答
- 送迎・電車待ちだけでなく、荷物整理や飲食、設置した備品で遊ぶ様子等も確認
- まちなかイベント情報の発信（チラシ配布等）が好評

滞留空間の利用者

- 通常時 100人～/日
- イベント時 300人～/日

※見守りカメラから調査日の10時～18時の利用者人数を集計

R6の展開 小諸駅周辺未来チャレンジビジョンのように、さらに安全で居心地のよい駅前広場とするため、駅前広場全体の交通機能の再配置等を試行する社会実験を実施します

5-1 小諸駅周辺地域未来チャレンジビジョン策定

目的	多様な主体による新たな活動の展開のために、公民共創による環境づくりの方向性を共有
成果	こもろ・まちたねプロジェクト連絡会議による小諸駅周辺地域未来チャレンジビジョンの策定

策定の背景①

人口減少、高齢化、地球温暖化対策等の諸課題に対応するために、**公民共創のまちづくり**への転換が必要

公共投資が中心のまちづくり

(人口増加時代)

▶

公民共創のまちづくり

- ・民間投資と公共投資
- ・多様な人材の活躍
- ・面的なデザイン

(人口減少時代)

策定の背景②

「行きたい、住みたい、帰ってきたいまち小諸」の実現に向けて公民共創のまちづくりを進めるために、地域の声を反映した**小諸らしいビジョン**が必要

《期待される効果》

対象範囲 以下の3地区と2つの通りを中心とした「小諸駅周辺地域」を対象範囲とします。

旧北国街道
歴史を伝える通り

相生町通り
くらしが感じられる通り

旧小諸本陣・大手門・三之門地区
文化・観光交流の拠点

小諸駅前地区
人を結ぶ交通結節点

市庁舎周辺地区
くらしの拠点

R6の展開 皆の思いを紡ぐ：関係者間の情報共有及び各取組みの推進・連携
仲間を集め試す：様々な主体的なプレイヤー・支援者を増やし、連携を深めながらシティプロモーションや社会実験の実施

5-2 未来ビジョン策定の経過

未来チャレンジビジョン策定に向けて

- 市民や来訪者、地域団体の方へ意見聴取やインタビュー調査等を実施し、小諸駅周辺の好きなおところや今後取り組みたいことなどを把握
- オープンハウスにより、未来チャレンジビジョンで示す将来のまちの姿を提示

市民意見聴取

小諸駅周辺地域の“好き”や“私が市長だったら〇〇したい”等、延べ2日間で156名の市民・来訪者の方の想いを収集



地域団体ヒアリング

小諸駅周辺地域の目指す方向性や今後取り組んでいきたいこと等について、小諸で活動する約30団体の皆さんと意見交換を実施



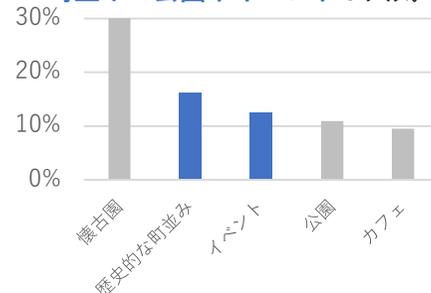
◀ まちたねキョテンでのヒアリングの様子

まちなかの来訪者インタビュー調査

小諸駅周辺地域の気に入ったコト・モノ、満足度等のインタビュー調査を137名に実施



懐古園に次いで、**歴史的な建物や町並み・公園**や**イベント**が人気



オープンハウス

図書館で、ビジョン（案）を掲示し、取組みを周知するとともに、共感したものや応援したい・参加したい取組み、お気に入りの未来チャレンジについて意見聴取



脱炭素先行地域の取組『脱炭素先行地域について』



- 地域脱炭素ロードマップに基づき、**2025年度までに少なくとも100か所の脱炭素先行地域を選定し、脱炭素に向かう地域特性等に応じた先行的な取組実施の道筋**をつけ、**2030年度までに実行**
- 農村・漁村・山村、離島、都市部の街区など多様な地域において、**地域課題を解決し、住民の暮らしの質の向上を実現**しながら脱炭素に向かう取組の方向性を示す。

脱炭素先行地域とは

民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてその他の温室効果ガス排出削減も地域特性に応じて実施する地域。

民生部門の
電力需要量

=

再エネ等の
電力供給量

+

省エネによる
電力削減量



スケジュール

	第1回選定	第2回選定	第3回選定	第4回選定	第5回選定
募集期間	<2022年> 1月25日～2月21日	<2022年> 7月26日～8月26日	<2023年> 2月7日～2月17日	<2023年> 8月18日～8月28日	<2024年> 検討中
結果公表	4月26日	11月1日	4月28日	秋頃	未定
選定数	26（提案数79）	20（提案数50）	16（提案数58）	12（提案数54）	-

※今後の選定状況次第で、2025年度を待たずに募集を終了する可能性があります。

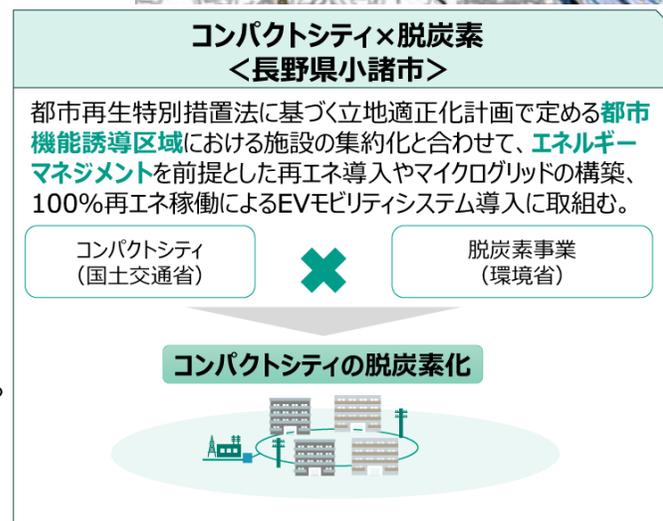
脱炭素先行地域の取組『小諸市の取組概要①』



計画提案タイトル：みんなでつくる みんなにやさしい ゼロカーボンシティこもろ ～低炭素まちづくりから脱炭素まちづくりへ 持続的で活気ある地方小都市モデル～

立地適正化計画で定める「都市機能誘導区域」を「脱炭素先行地域の対象地域」とし、施設の集約化に合わせて、太陽光、小水力、バイオガスなどの多様な再エネ電源を活用した**一体的なエネルギーマネジメントシステム**や地域マイクログリッドを構築するとともに、**100%再エネ稼働によるEVモビリティシステムを導入**することで、これまでの**コンパクトシティの取組を発展させた『脱炭素まちづくり』を推進**する。

『脱炭素まちづくり』の取組により、エネルギー利用の高度化・最適化による**事業経済性の向上**や**レジリエンスの強化**を進め、安心安全で利便性の高いコンパクトシティを実現することで、**地域の魅力向上を図り、まちの賑わい創出につなげることを最も重視している。**

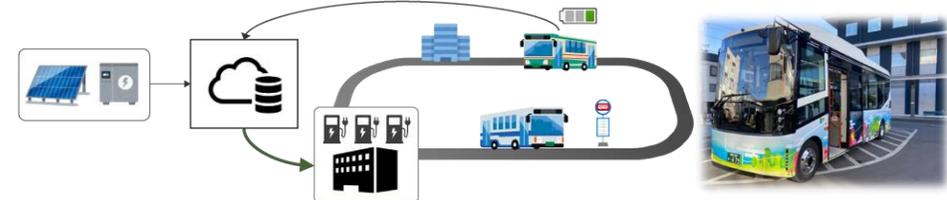


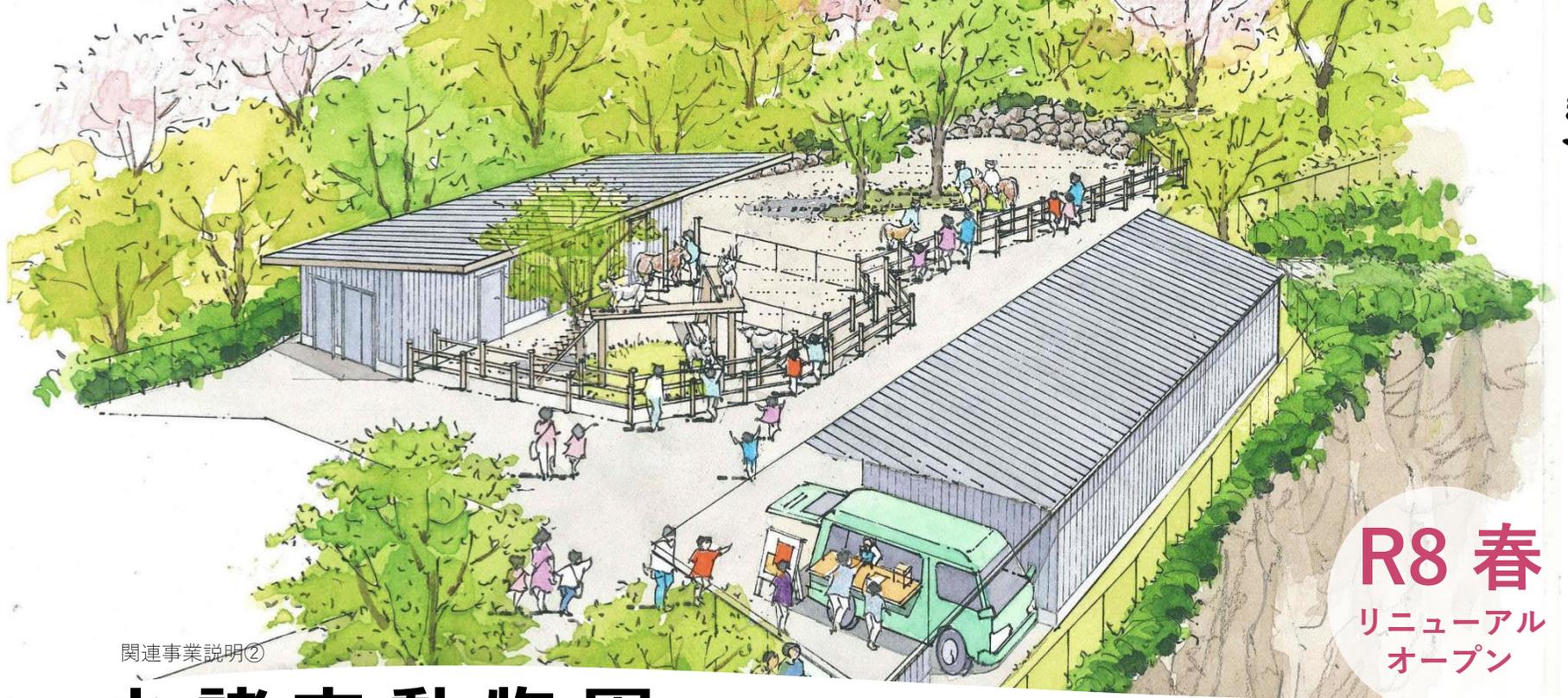
脱炭素先行地域の取組『小諸市の取組概要②』



【主な取組】

- ① オフサイト電源として多様な再エネを導入するとともに、オンサイトでは蓄熱槽を活用した需給調整、CEMSによる常時監視を行い、**VPPによるエネルギー利用の高度化**を図る
- ② 市庁舎、医療施設、商業施設等の都市機能が集約されたエリアに自営線を活用した**地域マイクログリッド**を構築
- ③ 地域内の戸建住宅、民間・公共施設等について**ZEH改修・断熱改修・設備の高効率化等**を実施
- ④ 下水熱を利用したヒートポンプの増設や、温泉施設からの排湯を農業施設の加温に利用するなど、地域の**未利用熱を有効活用**
- ⑤ コミュニティバス及びデマンドタクシー等のEV化、再エネ電力による充電設備の整備等により、**脱炭素地域交通ネットワーク**を構築
- ⑥ 公用車をEV化し、災害時に**移動蓄電池**として活用





関連事業説明②

R8 春
リニューアル
オープン

小諸市動物園

第二期整備の概要 (R6.5月-R8.3月)

1 動物展示施設の改修

A ポニー・ヤギ・ヒツジ B カメ C ミニブタ
D プレイリードッグ・チンチラ E アルパカ
F ウサギ G ルリコンゴウインコ H ムササビ

2 便益施設の改修

a トイレ b 授乳室、オムツ替えコーナー
c インフォメーションコーナー

子どもも、大人も
ふれあい、学びから動物と人が楽しくつながる場を目指して

新しく**仲間**入りする予定の**動物**たち



プレイリードッグ



アルパカ



チンチラ